



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP  
 コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布施 信夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森田 正和  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月31日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6741-5742

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	21,747	12.3	681		841		586	
2019年3月期第1四半期	19,362	8.1	876		839		536	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 32百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 1,083百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	13.32	
2019年3月期第1四半期	12.10	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	61,275	27,649	41.5
2019年3月期	64,725	27,897	38.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 25,427百万円 2019年3月期 25,150百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	5.0	1,680	81.0	1,200	52.0	1,800		40.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 営業利益には、費用としてのれん等償却費約11億円が含まれています。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社IMAGICAトータルサービス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	44,531,567 株	2019年3月期	44,531,567 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	478,341 株	2019年3月期	478,341 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	44,053,226 株	2019年3月期1Q	44,355,635 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2)財政状態に関する説明	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 当第1四半期連結累計期間の概況

当社は、グループを取り巻く成長機会と経営課題を踏まえ、グループの構造改革を加速し、成長と収益性を伴ったバランスのとれた事業ポートフォリオの構築を目指し、新中期経営戦略『総合力2021』を策定いたしました。

当期は、この新中期経営戦略に基づき、収益体質立て直しの年と位置付け、「映像を軸にグループ総合力を発揮」することを基本方針とし、各事業セグメントにおいてそれぞれの重点項目に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は217億47百万円(前年同四半期比12.3%増)、営業損失は6億81百万円(前年同四半期は営業損失8億76百万円)、経常損失は8億41百万円(前年同四半期は経常損失8億39百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億86百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失5億36百万円)を計上いたしました。なお、固定資産譲渡等により特別利益16億55百万円を計上いたしました。

#### ② セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

##### 1) 映像コンテンツ事業

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は78億30百万円(前年同四半期比67.1%増)、営業損失は31百万円(前年同四半期は営業損失3億74百万円)となりました。

売上高については、劇場映画作品において、前年同期に比して大型作品の制作案件があり、また、TVアニメシリーズ、TVCM、ミュージックビデオ制作も案件数が増加し好調に推移したことにより、増収となりました。営業利益については、売上増による粗利益増加に加え、アニメーション作品の制作コストの低減、また、前連結会計年度末において実施した株式会社オー・エル・エムに係るのれんの一時償却によるのれん償却負担減により、改善をしております。

##### 2) 映像制作サービス事業

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は59億65百万円(前年同四半期比4.2%減)、営業損失は1億1百万円(前年同四半期は営業損失11百万円)となりました。

働き方改革に対応したワークフロー改善、コスト管理の成果が見え、映画・アニメ向け、TV番組向けポストプロダクションサービスが堅調に推移しました。一方で、人材サービス分野における連結子会社1社の売却やデジタルコンテンツ事業拡充への投資等により、減収減益となりました。

##### 3) メディア・ローカライゼーション事業

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は51億22百万円(前年同四半期比12.3%減)、営業損失は6億85百万円(前年同四半期は営業損失5億91百万円)となりました。

売上高については、欧州地域において一時的に受注減少となったこと、また連結子会社2社の売却により、減収となりました。また、売上減少に伴う粗利益減により、営業損失を計上いたしましたが、制作体制の見直しを継続し、固定費削減を進めており、売上の減少影響を抑制しております。

なお、本年4月より持分法適用関連会社となったPixelogic Holdings, LLCとの連携を進め、第2四半期以降、新規映像配信プラットフォーム向け等の受注増に向け取り組んでおります。

#### 4)映像システム事業

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は31億54百万円(前年同四半期比8.1%増)、営業利益は1億60百万円(前年同四半期比21.5%減)となりました。

売上高については、イメージング分野において、欧州等での高速度カメラ新製品販売が順調に推移し、また映像システム分野においてはCMオンライン送稿システムを中心に販売が増加し、増収となりました。営業利益については、映像システム分野の大型案件の第2四半期への期ずれ、中国向け映像・画像処理LSIの販売が米中貿易摩擦の影響を受け減少したことにより、減益となりました。

※前連結会計年度まで「プロ用映像機器分野」と記載し報告してまいりました事業分野について、直近の業態に即し、当第1四半期連結累計期間より「映像システム分野」に名称を改めます。

## (2)財政状態に関する説明

### ①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて51億40百万円(12.8%)減少し、349億78百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて16億90百万円(6.9%)増加し、262億96百万円となりました。

これは主に、土地が赤坂ビデオセンター売却に伴い減少した一方で、関係会社株式がPixelogic Holdings, LLCの株式取得に伴い増加したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて34億49百万円(5.3%)減少し、612億75百万円となりました。

### ②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて19億56百万円(7.3%)減少し、247億55百万円となりました。

これは主に、短期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金、並びに前受金が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12億45百万円(12.3%)減少し、88億70百万円となりました。

これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて32億1百万円(8.7%)減少し、336億26百万円となりました。

### ③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億47百万円(0.9%)減少し、276億49百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が増加した一方で、非支配株主持分が減少したことによるものであります。

## (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表した数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,079,172	4,458,849
受取手形及び売掛金	19,043,240	14,823,356
たな卸資産	11,352,166	12,011,060
その他	3,704,760	3,731,324
貸倒引当金	△60,006	△45,667
流動資産合計	40,119,332	34,978,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,249,767	13,100,587
減価償却累計額	△9,682,599	△9,614,354
減損損失累計額	△64,483	△64,483
建物及び構築物(純額)	3,502,684	3,421,749
機械装置及び運搬具	10,979,003	10,720,376
減価償却累計額	△10,752,343	△10,503,300
減損損失累計額	△109,269	△109,260
機械装置及び運搬具(純額)	117,391	107,814
土地	2,944,295	1,705,819
リース資産	1,761,200	1,766,323
減価償却累計額	△960,522	△1,047,626
リース資産(純額)	800,677	718,696
建設仮勘定	60,508	87,102
その他	5,206,019	5,251,221
減価償却累計額	△3,540,247	△3,656,270
減損損失累計額	△7,270	△7,270
その他(純額)	1,658,500	1,587,679
有形固定資産合計	9,084,058	7,628,862
無形固定資産		
ソフトウェア	1,189,223	1,189,119
のれん	3,769,751	3,644,534
その他	4,377,450	4,356,331
無形固定資産合計	9,336,425	9,189,985
投資その他の資産		
投資有価証券	2,780,364	2,994,510
関係会社株式	306,705	3,307,236
敷金及び保証金	1,177,433	1,269,791
繰延税金資産	1,407,252	1,360,348
その他	624,476	672,622
貸倒引当金	△110,528	△126,474
投資その他の資産合計	6,185,703	9,478,034
固定資産合計	24,606,187	26,296,882
資産合計	64,725,520	61,275,806

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,657,281	5,258,849
短期借入金	5,375,309	5,979,813
未払金	3,688,369	3,759,002
未払法人税等	646,989	566,927
前受金	5,735,832	4,293,152
賞与引当金	1,131,264	603,114
役員等報酬引当金	146,678	32,585
受注損失引当金	73,117	38,950
その他	3,257,658	4,223,320
流動負債合計	26,712,502	24,755,715
固定負債		
長期借入金	6,169,835	5,324,793
長期末払金	316,773	180,363
繰延税金負債	493,520	493,208
退職給付に係る負債	1,356,280	1,175,372
その他	1,779,206	1,696,849
固定負債合計	10,115,616	8,870,587
負債合計	36,828,119	33,626,303
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,244,915	3,244,915
資本剰余金	14,816,170	14,816,170
利益剰余金	7,286,290	7,652,704
自己株式	△489,754	△489,754
株主資本合計	24,857,620	25,224,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741,443	652,329
繰延ヘッジ損益	△1,346	—
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△442,700	△442,661
退職給付に係る調整累計額	12,919	12,037
その他の包括利益累計額合計	292,382	203,773
非支配株主持分	2,747,397	2,221,695
純資産合計	27,897,401	27,649,503
負債純資産合計	64,725,520	61,275,806

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	19,362,044	21,747,863
売上原価	14,615,586	16,853,006
売上総利益	4,746,457	4,894,857
販売費及び一般管理費	5,622,937	5,576,601
営業損失(△)	△876,479	△681,744
営業外収益		
受取利息	673	12,096
受取配当金	15,764	13,370
受取賃貸料	13,941	17,991
持分法による投資利益	7,146	—
為替差益	42,695	—
その他	36,656	41,127
営業外収益合計	116,877	84,584
営業外費用		
支払利息	70,015	83,544
持分法による投資損失	—	1,340
為替差損	—	134,491
その他	9,980	24,512
営業外費用合計	79,995	243,888
経常損失(△)	△839,597	△841,047
特別利益		
固定資産売却益	1,173	1,647,502
その他	—	7,750
特別利益合計	1,173	1,655,252
特別損失		
固定資産除却損	3,197	9,202
投資有価証券評価損	47	—
移転関連費用	18,500	—
特別損失合計	21,744	9,202
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△860,168	805,001
法人税等	33,542	700,540
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△893,711	104,461
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△357,081	△482,219
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△536,629	586,680



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△893,711	104,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,852	△90,353
繰延ヘッジ損益	2,635	1,346
為替換算調整勘定	△275,144	18,017
退職給付に係る調整額	△596	△881
その他の包括利益合計	△190,252	△71,870
四半期包括利益	△1,083,963	32,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△595,973	498,071
非支配株主に係る四半期包括利益	△487,989	△465,480

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ロ ーカライゼー ション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,663,959	6,055,183	5,738,458	2,862,777	19,320,379	41,664	19,362,044
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21,993	173,607	101,863	56,254	353,720	△353,720	—
計	4,685,953	6,228,791	5,840,322	2,919,032	19,674,099	△312,055	19,362,044
セグメント利益 又は損失(△)	△374,212	△11,914	△591,514	204,968	△772,672	△103,806	△876,479

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△103,806千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,096,368千円及びセグメント間取引消去△1,200,175千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ロ ーカライゼー ション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	7,797,163	5,734,153	5,117,610	3,096,478	21,745,406	2,457	21,747,863
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	32,957	231,413	5,234	58,091	327,697	△327,697	—
計	7,830,120	5,965,567	5,122,845	3,154,570	22,073,103	△325,240	21,747,863
セグメント利益 又は損失(△)	△31,313	△101,144	△685,421	160,982	△656,896	△24,847	△681,744

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△24,847千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,612,944千円及びセグメント間取引消去△1,637,791千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。